

【実績報告関係調査⑤】R6年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

都道府県名	23 愛知県
自治体区分	都道府県

●R6年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために令和6年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数	単位の	本年の目標値	本年の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)	目標等の公表先
23219小牧市	③学校と家庭の課題	02 放課後等における多様な体験活動	全ての児童が放課後を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことを目指しているが、放課後子ども教室や学校ごとに放課後子ども総合プランの活動回数や参加人数に幅が生じている。	各小学校で放課後子ども教室を実施。また、令和3年度に市内2小学校で実施したモデル事業の評価・検証を踏まえ、令和4年度に6校、令和5年度は12校において放課後子ども総合プランを実施。	外部のボランティアや有償講師など様々な従事者を活用するとともに、既存の放課後子ども教室と児童クラブが協力することで活動の幅を広げる。	各放課後子ども教室の活動回数の増加とともに、児童クラブとの合同活動する放課後子ども総合プランの活動回数の増加を目指す。	総合プランの実施回数	32	件	40	78	04 本年度の目標値を上回り、課題の解決に向けて大きな成果 本年度から市内全校で放課後子ども総合プランを実施したことで、実施回数が増加した。引き続き、外部講師のボランティアや有償講師など様々な従事者を活用するとともに、既存の放課後子ども教室と児童クラブが協力することで活動の幅を広げていく。	http://www.city.komaki.aichi.jp/admin/soshiki/kodomomirai/kodomoseisaku/1/4/15_1/8375.html
23219小牧市	③学校と家庭の課題	01 家庭等における学習習慣の定着	家庭環境により家で学習する機会がない、経済的理由により学習塾に通えない生徒に対し、学習する機会と場づくりをし、学習習慣を身に付け、基礎学力の定着をはかる必要がある。	4月の生徒募集に加え、夏休み終了後に追加募集を実施。追加募集の締り切前の夏休み期間に見学会を実施した。また、中学に進学すべく入塾できるよう、小学6年生を対象とした見学会を実施した。	駒来塾を必要とする生徒が中学に進学後、すぐに入塾ができる体制を整えるとともに、引き続き、中学生を対象とした見学会を実施していく。	駒来塾を必要とする生徒に入塾してもらう。	駒来塾の参加者数	100	人	100	104	03 本年の目標値を上回り、課題の定着が図られた 来年度から新たに1会場を開設する予定をしており、引き続き、駒来塾を必要とする生徒に入塾していただけるよう事業を進めていく。	http://www.city.komaki.aichi.jp/admin/soshiki/kodomomirai/kodomoseisaku/1/4/8/44424.html